

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2020 年 第 15 週（4月6日~4月12日）

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	229 人 類型 患者 219 人、無症状病原体保有者 10 人
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人 類型 患者 2 人、血清型 O157 2 人
四類感染症	報告なし
五類感染症 カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	2 人 <i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 1 人
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	1 人 病原体 不明
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
梅毒	2 人 病型 早期顕症 期 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
百日咳	4 人 1 歳未満 1 人、7 歳 1 人、 10 歳代 1 人、30 歳代 1 人

<定点把握対象疾患の患者情報>

小児科及び内科定点報告疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下の状況が続いている。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 12 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 4 人の報告があった。

- この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当)
 TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp まで御連絡ください。
- 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idschtml/>)で御覧になれます。

注目すべき疾患

- 新型コロナウイルス感染症 -

表 年齢階級別週別届出数（第1週～第15週：診断週集計）

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計	累計
第1～10週	1			2	3	1	3			10	10
第11週		3	2	4	3	5	4	3		24	34
第12週			2		5	5	2	1	4	19	53
第13週	1	2	7	2	4	7	6	3	1	33	86
第14週	2	3	28	10	16	29	6	4	4	102	188
第15週	2	7	32	24	49	52	29	23	15	233	421

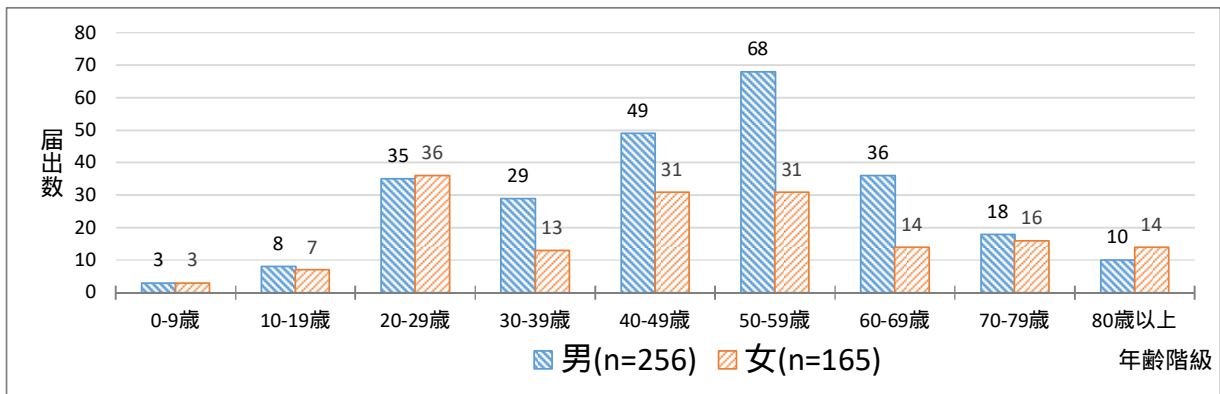


図 年齢階級別性別届出数（第1週～第15週：診断週集計）

患者の詳細情報については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者一覧」をご覧ください。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第15週)

(2020年4月15日 10:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢		5	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	12			
四類感染症					
E型肝炎		14	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		2	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症		1	マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		17
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		8	侵襲性肺炎球菌感染症	1	32
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	水痘(入院例に限る)		6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	17	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	1	1	梅毒	2	34
急性脳炎		14	播種性クリプトコックス症		1
クリプトスポリジウム症			破傷風		
クロイツフェルト・ヤコブ病			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		13	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		6	百日咳	4	72
ジアルジア症			風しん		3
侵襲性インフルエンザ菌感染症		6	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
指定感染症	新型コロナウイルス感染症*2			229	421

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

*2 チャーター便による帰国邦人(その濃厚接触者を含む)4人を含みます。なお、記者発表資料等については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者一覧」を参照してください。

結核届出状況(3月分)

3月の届出総数は、患者45人、無症状病原体保有者22人の計67人であった。前月と比べると患者数はやや増加し、無症状病原体保有者数は同水準であった。前年との比較では患者数、無症状病原体保有者数ともに少なかった。

表1 診断月別の届出数の推移(2019年3月～2020年3月)

	2019年*										2020年			累計**
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総計	99	132	99	101	110	108	119	97	86	104	84	60	67	211
年齢階級														
10歳未満	5	23	2	0	2	3	4	0	2	5	2	1	7	10
10歳代	4	4	1	0	0	2	3	1	0	3	1	1	1	3
20歳代	10	12	8	8	12	15	10	9	8	7	7	7	5	19
30歳代	10	12	5	9	9	9	8	7	2	10	7	2	6	15
40歳代	8	17	13	18	7	8	15	8	7	15	5	13	8	26
50歳代	14	6	14	10	11	10	8	12	8	2	11	6	5	22
60歳代	8	17	11	14	14	13	6	14	9	10	11	10	9	30
70歳代	24	14	19	19	26	21	30	24	17	19	19	7	8	34
80歳以上	16	27	26	23	29	27	35	22	33	33	21	13	18	52
性														
男	57	68	54	67	65	54	71	61	50	51	54	35	34	123
女	42	64	45	34	45	54	48	36	36	53	30	25	33	88
類型														
患者	63	64	60	58	72	71	66	57	61	53	61	40	45	146
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
無症状病原体保有者	36	68	37	43	38	37	53	40	25	47	23	20	22	65
病型														
肺結核	48	47	44	38	50	53	47	44	51	39	48	33	33	114
肺結核及びその他の結核	1	3	4	8	7	3	5	7	1	7	8	3	2	13
その他の結核	14	14	12	12	15	15	14	6	9	8	5	4	10	19
疑似症患者	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
無症状病原体保有者	36	68	37	43	38	37	53	40	25	47	23	20	22	65

*:2019年の届出数は暫定値

** :2020年1月からの累積届出数

3月に診断された67人を病型別にみると、肺結核は10歳代以上の年齢階級から計33人の報告があり、80歳以上が12人で最も多かった。無症状病原体保有者は、10歳代及び60歳代を除く年齢階級から報告があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2020年3月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
総計	33	2	10	0	22	67
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	7	7
10歳代	1	0	0	0	0	1
20歳代	2	1	0	0	2	5
30歳代	3	0	0	0	3	6
40歳代	2	0	1	0	5	8
50歳代	1	0	2	0	2	5
60歳代	6	0	3	0	0	9
70歳代	6	0	1	0	1	8
80歳以上	12	1	3	0	2	18

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2020年第15週 4月6日～4月12日)

	報告患者数																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	12	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	1	-	3	1	1	-	-	2	-
合計	12	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	1	-	3	1	1	-	-	2	-
RSウイルス感染症	8	1	-	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	23	-	-	5	8	3	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	172	-	-	10	13	25	27	17	23	17	11	7	13	-	9	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	257	-	22	31	19	29	24	21	15	7	12	11	26	8	32	-	-	-	-	-	-
水痘	31	-	2	1	3	4	7	2	4	4	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	11	-	2	5	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	24	-	-	4	2	4	3	4	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	56	-	15	38	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	1	1	3	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	10	-	-	-	1	1	3	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
流行性角結膜炎	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	2	1	4	2	-	-
合計	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	1	4	2	-	-	-
細菌性髄膜炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第13週 (3月23日～3月29日)

令和2年4月15日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(1.31)、青森県(1.25)、岡山県(0.98)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は23例と前週と比較して減少した。都道府県別では16道府県から報告があり、年齢別では1～9歳(8例)、30代(2例)、60代(1例)、70代(5例)、80歳以上(7例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第9週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は山口県(0.43)、青森県(0.31)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.62)、宮崎県(0.61)、富山県(0.48)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第9週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(4.28)、石川県(3.93)、新潟県(3.49)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(4.83)、香川県(4.71)、鹿児島県(4.32)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.56)、佐賀県(0.43)、高知県(0.40)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.83)、鳥取県(0.79)、宮崎県(0.58)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.18)、佐賀県(0.09)、長野県(0.07)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.16)、鹿児島県(0.15)、高知県(0.10)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は高知県(0.63)、富山県(0.60)、滋賀県(0.57)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。6県から6例報告があり、年齢別では1～4歳(4例)、5～9歳(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2020年 第13週(3月23日～3月29日): 通巻第22巻 第13号 より

2020年 13週

		2020年 13週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	1,335	220	3	5	29	62	18	72	31
	定点当たり	0.27	0.15	0.03	0.07	0.34	0.25	0.08	0.17	0.09
RSウイルス感染症	報告数	344	64	5	6	2	11	8	8	24
	定点当たり	0.11	0.07	0.07	0.13	0.04	0.07	0.06	0.03	0.11
咽頭結膜熱	報告数	622	131	7	5	8	37	23	34	17
	定点当たり	0.20	0.14	0.09	0.10	0.15	0.24	0.17	0.13	0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,016	1,360	95	45	61	217	260	372	310
	定点当たり	1.59	1.43	1.27	0.94	1.15	1.38	1.95	1.43	1.38
感染性胃腸炎	報告数	6,613	1,913	96	37	105	393	211	655	416
	定点当たり	2.10	2.01	1.28	0.77	1.98	2.50	1.59	2.52	1.86
水痘	報告数	743	224	14	10	7	54	21	67	51
	定点当たり	0.24	0.24	0.19	0.21	0.13	0.34	0.16	0.26	0.23
手足口病	報告数	229	28	-	1	3	6	2	10	6
	定点当たり	0.07	0.03	-	0.02	0.06	0.04	0.02	0.04	0.03
伝染性紅斑	報告数	679	99	10	8	16	15	15	20	15
	定点当たり	0.22	0.10	0.13	0.17	0.30	0.10	0.11	0.08	0.07
突発性発しん	報告数	922	254	11	12	8	43	38	85	57
	定点当たり	0.29	0.27	0.15	0.25	0.15	0.27	0.29	0.33	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	46	14	-	-	1	1	2	9	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.02	0.01	0.02	0.03	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	152	54	1	1	5	13	8	16	10
	定点当たり	0.05	0.06	0.01	0.02	0.09	0.08	0.06	0.06	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	10	3	-	-	-	2	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	217	80	5	5	4	13	10	7	36
	定点当たり	0.31	0.38	0.29	0.42	0.27	0.33	0.29	0.18	0.69
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	3	-	-	-	1	-	-	2
	定点当たり	0.02	0.04	-	-	-	0.09	-	-	0.18
無菌性髄膜炎	報告数	5	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	-	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	100	19	2	3	4	4	-	4	2
	定点当たり	0.21	0.23	0.17	0.43	0.44	0.36	-	0.17	0.18
クラミジア肺炎 #3	報告数	7	3	-	-	1	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.04	-	-	0.11	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.08	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

感染症発生動向調査 2020年

- [感染症の流行状況 2020年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第14週](#)

感染症の流行状況 2020年 第15週

2020年第15週（4月6日～4月12日）の要点 令和2年4月15日

定点把握対象疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下でした。引き続き、外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン